



放送大学島根同窓会は2013年4月に発足しました。その発足は全国的には遅い設立でしたが、設立に当たっては、次のようなことを目標としました。

- ・同窓会員の相互の交流と親睦を通して相互研鑽を図る。
- ・島根学習センターの支援・発展と地域・社会への貢献に寄与する。

島根県は周知のように日本海に沿って東西に長い県ですが、県の東部、中部、西部のそれぞれの地域でこれまで公開講座の開催や島根学習センターと同窓生や在学生を交えての懇談会を実施するなどさまざまな活動を行っています。

「神楽」とはその語源を「神座（かみくら）」としていて、これは神霊が依りつく場所とか物とかを顕している。すなわち山からの祖霊を招き祭り、神の託宣を伺い、神とともに一夜を過ごし、再び神を送り返すという人々の素朴な信仰としての儀式なのである。“神々の国”島根県は神話と神事、そしてそれに関わる伝統芸能としてのその神楽が盛んであるが、出雲・石見・隠岐とそれぞれの地域において特色ある神楽が生まれた。出雲地方においては前段で素面、後段で着面をして舞うというもの。石見地方においては大掛かりで派手。華やかな刺繍衣装や面をつけてのスケールの大きなもの。隠岐では神楽専門の太夫・社家が舞うという風である。殊に石見地方においては神楽の愛好熱が高く、大田

市・浜田市・江津市と殆どの地域において威勢の良い八調子神楽が舞われている。また昔ながらの緩やかな調子としての六調子神楽も、これは山間部において今も伝統的に受け継がれている。

写真は大田市の「土江こども神楽団」による「桃太郎」の舞で、舞もお囃子もすべて子供達による明治十二年から伝わる、伝統あるものである。

六調子神楽・緩やかな調子

八調子神楽・威勢のよさ

(2016. 10. 13)